

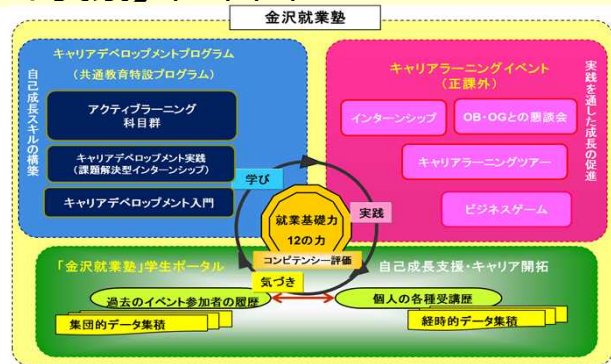
# 金沢大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: キャリア開発プログラム  
「キャリア開発実践」(2単位)

## <取組の概要>

### 課題解決型(PBL型)インターンシップ

- ・P-D-C-Aサイクルを活用して【取組み力】【実行力】【創造力】等の就業基礎力を習得
- ・社会で働くイメージの明確化や業種・業界・職種への理解の深化を図る



## <取組の具体的な内容>

- 実習先企業: 地元機械メーカー
- 参加対象者: 2年生以上の学生
- 実習日数: 5日
- 実習場所: 石川県内
- 実習期間: 8月～9月

### 1. オリエンテーション、業種職種説明

協力企業の事業内容・ビジネスマナー・コンピテンシーとは 等

### 2. PBL型インターンシップ

#### ① 試作について理解



量産とは異なり、製造手順を自ら考える必要性⇒オールマイティな能力が求められる

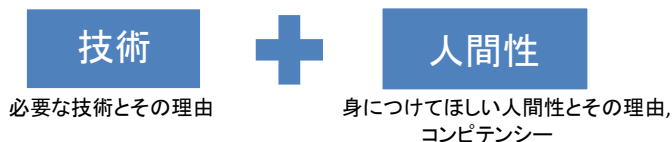
#### ② 社員へのインタビュー

「試作に適した人材とは?」「そのような人材を伸ばすには?」  
管理部門を含む全社にインタビュー

- 試作部門ですごい人はどんな人ですか?
- どのような性格の人が伸びていますか?
- どのような人が試作に向いていると思いますか? など



#### ③ インタビュー結果から理想の試作人材を考察

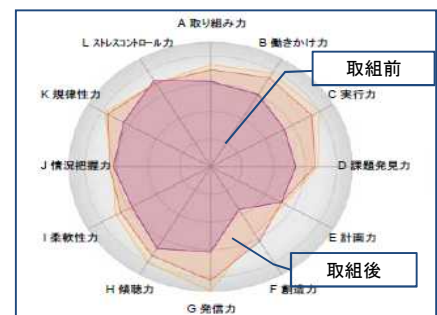


### 3. 成果プレゼン (現状の問題点と人材育成プランの提案)

受入先企業で開催。企業、管理部門、生産部門、それぞれの立場でとるべき行動を提案

### 4. フィードバック・クロージング

学内開催。教員、協力企業の社長、人事担当者からもフィードバック



参加学生の取組みの前後における就業基礎力の変化(一例)

# 静岡大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: インターンシップの理論と実践(2単位)
- 実習先企業等: 株式会社エムスクエア・ラボ, 杉本農園,  
株式会社鈴生(すずなり)
- 実習場所: 静岡県内
- 参加対象者: 2年生以上、  
静岡キャンパス4学部(人文社会科・教育・理・農)
- 実習期間: 7月～9月 ●実習日数: 11日(平成26年度3社平均)

## <取組の概要>

この科目では、食品関連産業をテーマとしながらも、特定の専門性に依存しない実習のテーマを学生が個々に設定し、主体的な学びを要求する事前事後学習や実習を行う。平成26年度には、3つの企業と連携しPBLを取り入れることによって、学生は、企業の仕事を理解しただけでなく、プロジェクトの遂行でチーム業務を経験し、実習企業に貢献することができた。

## 杉本農園での実習例



米づくりを知る



自分たちの企画を  
プレゼンする



消費者に届ける  
(試食販売)

## <取組の具体的な内容>

### 【充実した事前事後学習】

- 企業や自治体内における現状、マーケティング理論のインプットと、今後の課題についての議論。
- PDCAサイクルによる、実習での業務体験の振り返り。

### 【企業実習におけるPBL】

実習は、静岡銀行が主催する食品商談会での販売体験(「実習I」, 7月)と、チームごとの食品関連企業における実習(「実習II」, ～9月)の2部構成。後者の企業実習では、2～5か月にわたり、実際に業務を経験するとともに、その企業から課されたプロジェクトの遂行をチームで行った。

### 【本プログラムの効果】

充実した事前学習とPBLを取り入れたことにより、実習企業の社長のアイディアが実現可能になるとともに、学生は当事者意識での思考を身につけられ、学習意欲の向上につなげることができた。

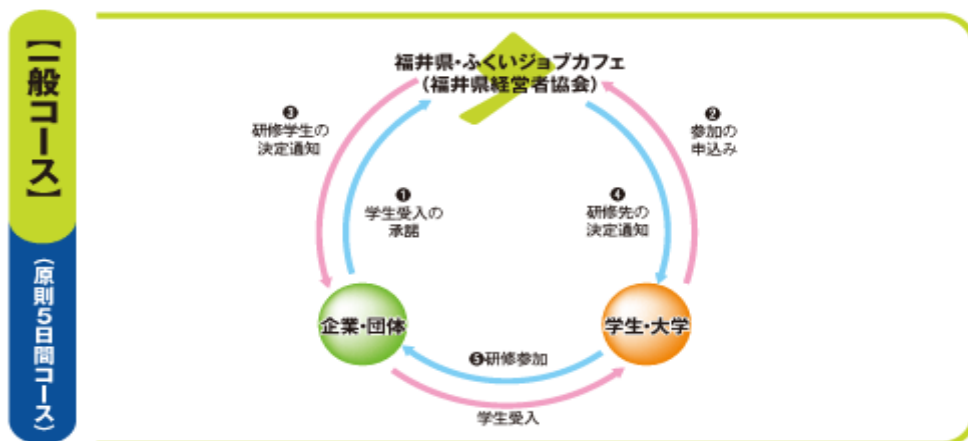
## 福井大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ(1単位)
- 実習先企業等：福井県内の企業・団体
- 実習場所：主に福井県内
- 参加対象者：工学部3年生
- 実習期間：7月～9月
- 実習日数：5日以上

### <取組の概要>

1週間(5日, 40時間)以上の就業体験と, 事前・事後研修の受講及び報告書の提出により, 専門教育科目の選択科目として1単位を認定する。

### <福井県インターンシップ制度>



### <取組の具体的な内容>

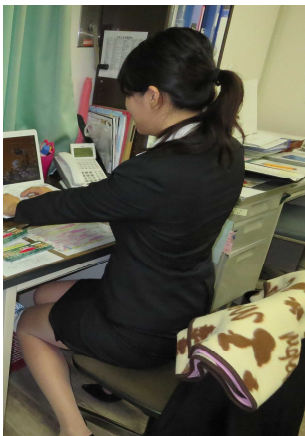
工学部学生が在学中に就業体験を行い, 実社会における技術者の役割や仕事などを理解し, 将来, 社会人として働く場合の自己意識を確立する一助とするため, 正規の授業科目の一つとして, 単位を認定する。実施方法としては, 主に福井県内の企業や団体が参加し, 福井県経営者協会が主体となって行う「福井県インターンシップ制度」を利用している。福井県経営者協会が学生の希望するインターンシップ先とのマッチング作業を行い, また, 事前にマナー講習や心構え等を学ばせる説明会を開催し, 事後においては他企業での経験を共有させるため事後研修の開催及び研修活動報告書を提出させている。更に本学独自のものとして, 学内においても報告会を開き, 全参加者に体験発表を義務づけている。

## 三重大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: キャリアインターンシップ I (2単位)
- 実習先企業等: 宿泊業
- 実習場所: 三重県四日市市
- 参加対象者: 1年生
- 実習期間: 9月
- 実習日数: 10日間

### <取組の概要>

インターンシップ前に、企業と教員との打合せを行い、社長や社員と現場の第一線で業務に取り組むインターンシップを設計した。事前のマナー講座、グループワークを通しての自己分析、事後には心理的な意味づけに重きを置いた振り返り、最終報告を実施した。



販促物作成中の様子



最終報告会の様子

### <取組の具体的な内容>

- 総務: カルチャースクール、イベント等の受付、ウェディングの打ち合わせ同席
- 宿泊課: 客室清掃
- 飲料サービス課: パーティ運営補助、ドリンク提供
- フロント: 英語と日本語でのお客さま対応
- 販売促進課: 販促物作成
- インターンシップ後: 教員との個別面接により、事前学習で立てた学生自身の目標、インターンシップでの学びを振り返り、最終報告会で受入企業関係者に対して報告した。

## 富山県立大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップA(2単位)
- 実習先企業等：主に富山県内の企業
- 実習場所：富山県
- 参加対象者：工学部3年生
- 実習期間：8月～9月
- 実習日数：10日間

### <取組の概要>

学部3年生を対象として、本学キャリア形成科目に位置づけ例年8月～9月の夏休み期間に実施。工学部各学科のインターンシップ担当教員が成績認定を行う。



学内マナー講座の様子

### <取組の具体的な内容>

各学科のインターンシップ担当教員が、学生の参加希望する企業のマッチングを行う。受入先の開拓については、各県のインターンシップ推進団体等から提供される情報の利用や学生自身による公募型インターンシップへのエントリーによる。

実習先としては、大半が富山県内企業だが、県外出身学生などが自身の地元の企業の実習に参加するケースもある。

実習前の取組として、学内でのガイダンスやマナー講座を実施し、実習後に各学科の担当教員が、企業からの評価と学生自身の報告に基づき成績評価や学生へのフィードバック指導を行う。

# 富山国際大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等：金融業
- 実習場所：富山県富山市
- 参加対象者：現代社会学部、全学年
- 実習期間：3月
- 実習日数：事前・事後学内研修2日間、学外実習3日間

## <取組の概要>

研修プログラムは、「事前研修」・「実習・研修」・「事後研修」をもって完結し、全体のプログラムを良好に修了したと認められる者に単位を認定する。



写真①事前研修業界研究の様子

写真②事前研修(マナー講座)

## <取組の具体的な内容>

事前研修として、業界研究を課し、金融業とは何か、接客業は何かということをしつかりと理解させるとともに、参加学生に企業の歴史や業務内容について研究させ、レポートを提出させる。また、企業研究と並行して、マナー講座を実施し、元気な挨拶や適切なお辞儀を徹底して身につけさせる。

事前研修後、実際に職場において実習を行う。

実習後、研修の振り返りとして実習で学んだことをレポートにして提出させ、実習先の評価等を参考に事後研修を行う。最後に、研修報告会を実施し、研修での実施報告や成果などプレゼンテーションを行うことによりコミュニケーション力を醸成させる。

# 金沢工業大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名:KITインターンシップ(単位:無)
- 実習先企業等:北陸地区の企業等
- 実習場所:石川県金沢市
- 参加対象者:全学部3年生、2年生
- 実習期間:8月～9月      ●実習日数:5日～10日

## <取組の概要>

本取組は、夏休みに行われるインターンシップに対して、参加する学生が自身の社会人基礎力について自己評価し、それに基づいて目標を立て具体的に成長を促すものである。

### KITインターンシップ概要



## <取組の具体的な内容>

本取組は、企業で就業体験の前・後に社会人基礎力を測定することを目的とした、ルーブリックを用いて自己評価を行い、学生は就業体験前の自身の社会人基礎力を把握し、この結果を基に獲得すべき基礎力を明確にすると共に目標を立て、就業体験に取り組む。そして就業体験後には、目標に対する成長を振り返る機会を設け、今後の修学の充実へと結びつけていく。

本インターンシップは、①事前学習、②就業体験、③事後学習の3フェーズから構成しており、①の事前学習には自己評価による目標設定、企業分析シートによる企業と自身の専門分野の関係性の理解、社会人マナー研修等の受講から成っている。③の事後学習では目標設定に対する振り返り、企業担当者からの評価から今後の修学への具体的な目標を設定する。また、その後の成長について、企業の人事担当者、自治体の担当者を中心に招く「ステークホルダー交流会」にて発表・公表を行い、他者評価を受け、更なる成長を促すものである。なお、②の就業体験では、本学と企業とで受入テーマについて打合せを行い、学生の専門分野を視野入れてマッチングを図っている。

# 静岡理工科大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: インターンシップ(1単位)
- 実習先企業等: 化学製品メーカー
- 実習場所: 静岡県掛川市
- 参加対象者: 理工学部機械工学科3年生3名
- 実習期間: 8月4日～8日
- 実習日数: 5日

## <取組の概要>

集中科目として設定し前期・夏休み・後期に亘って実施。前期にマッチング会および3回の事前研修で授業概要や会社と仕事の概略、実習上の注意を実施。実習は夏休みに地元のメーカーにて実施。後期に学生は実習日報と実習報告書を大学に提出。成果について振り返る事後研修と報告会を実施。所定の行事に参加し、必要書類を提出し要件を満たした学生に1単位を付与する。



技術実習風景

## <取組の具体的な内容>

今年度のインターンシップ実習の内容  
勤務時間 午前8時～午後5時

[1日目]

自己紹介、会社概要の紹介、工場の行程見学。

[2日目]

モノと情報の流れと、危険予知トレーニング

[3日目]

品質管理(ものづくりをするための2つの法規制について)。

ISO9001による国際基準の実務運用管理。検出機器模擬体験。

現場実習 オペレーション体験

[4日目]

現場実習 オペレーション体験、生産工程(全工程)の理解

技術実習① 有接点電気回路の実配線と動作確認

[5日目]

技術実習② 回路をシーケンスプログラム変換しシーケンサで動作確認。実習レポートまとめと発表会

[実習終了後]実習期間中に毎日記録した日報と、実習前に期待したことと実習後の成果のレビューを行ない実習報告書を大学に提出。11月4日に大学で開催したインターンシップ報告会に参加。

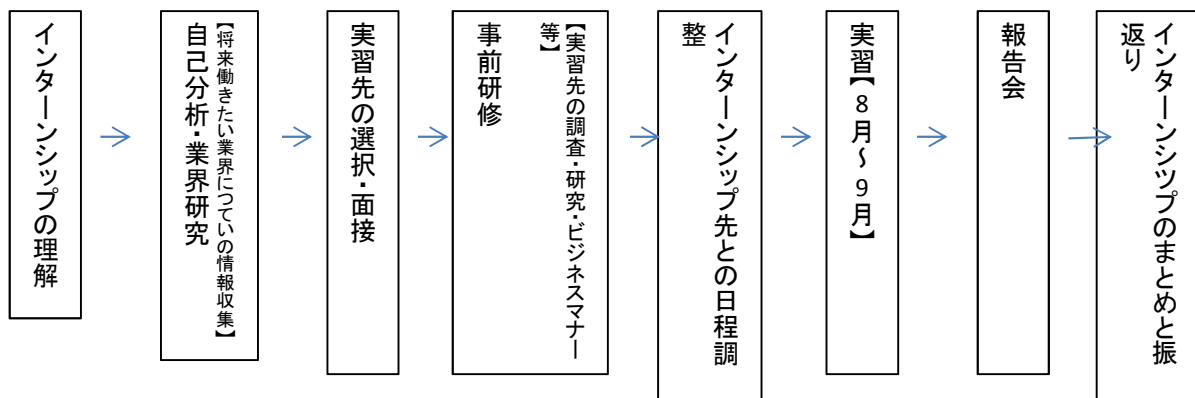


# 愛知産業大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等：あそびの森
- 実習場所：岐阜県岐阜市)
- 参加対象者：経営学部3年生
- 実習期間：8月～9月
- 実習日数：2週間

## <取組の概要>

半期科目で設定。インターンシップの理解、自己分析・業界研究後に実習先を選択。実習先の調査・研究を行い夏期休暇中に実施。実習後、実習内容を発表し職業意識を養い育てる。



## <取組の具体的な内容>

あそびの森は、室内キッズパークの企画、運営、開発を行っている会社である。座学では学ぶことのできないことを実習を通して自分に足りない部分を学習する。年齢層の広い顧客の対応や取引先の企業とのやり取り、企画、運営等、普段経験することのできない体験とすることで社会人として必要な知識を学ぶ。

# 椋山女学園大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名:インターンシップ I (1単位)
- 実習先企業等:旅行業
- 実習場所:愛知県名古屋市
- 参加対象者:本学3年生(2名)
- 実習期間:8月18日~29日
- 実習日数:10日

## <取組の概要>

国際コミュニケーション学部・人間関係学部の3年生の2名が、学内での事前指導を3日間受講のうえ、旅行業のインターンシップに参加しました。学生の参加事由は、主に次のとおりです。

- ・具体的に就職活動を考えるきっかけにしたい
- ・自分自身の特性や自分の強み、弱みを知るきっかけにしたい
- ・楽しい旅行が送れる裏で、どのようなことが行われているのかを知りたい
- ・実習内容が充実しているところに魅力を感じた



事前指導・事後指導の様子

## <取組の具体的な内容>

- 支店内業務体験  
旅行会社の仕事の説明・行程表作成・JR切符発券
- 営業同行  
学校訪問・パンフレット配布
- バスツアー添乗同行  
お客様受付・バス内挨拶・芝居小屋見学・  
コウノトリの郷公園見学・食事準備・  
城之崎温泉街散策・丹後ちりめん歴史館見学・  
伊根湾めぐり遊覧船観光・天橋立見学
- イベントへの参加  
イベント参加者受付・本部手伝い・パンフレット紹介・CD販売
- 航空業務体験  
国内航空手配の説明・航空券発券・全日本空輸株式会社への訪問



# 中部大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップA(1単位)
- 実習場所：学内
- 参加対象者：学部3年生および一部の大学院1年生
- 実習期間：5月～6月上旬
- 実習日数：6日

## ＜取組の概要＞

インターンシップAでは、インターンシップB(就業体験)に参加するためのビジネスマナー、インターンシップの意義や社会人として必要とされる基礎的知識の修得を目指す。



インターンシップA(ガイダンス)



インターンシップA(グループワーク)

## ＜取組の具体的な内容＞

インターンシップB(就業体験)に向けた事前研修として、社会人として必要な基礎的知識やビジネスマナーの修得を行う。ガイダンス(1回)と少人数のクラスに分かれてグループワークやグループディスカッションを中心に行われる研修(5回)から構成される。

【第1回】インターンシップガイダンス

【第2回】インターンシップの主旨・目的・内容の理解、  
ビジネスマナーの基本

【第3回】敬語と仕事の上でのマナー、コミュニケーションの必要性

【第4回】職場でのコミュニケーション、チームワークの重要性

【第5回】グループディスカッション、電話マナーのトレーニング

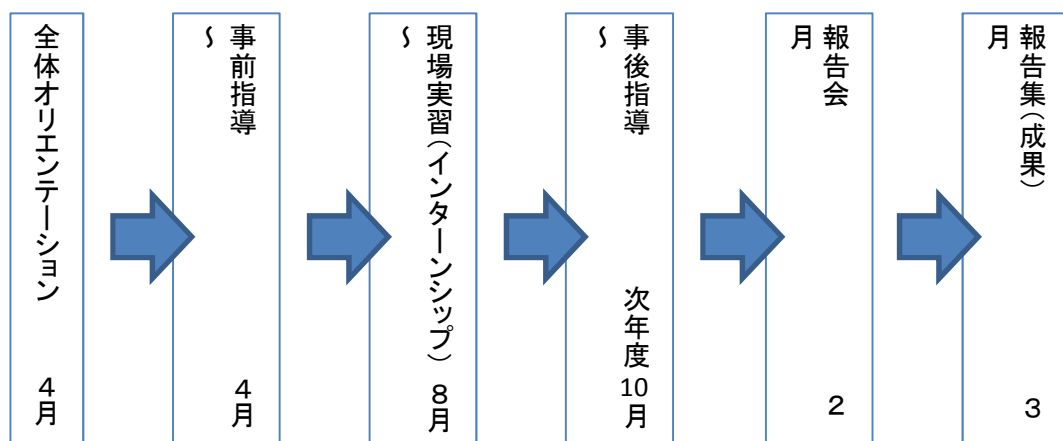
【第6回】まとめ(講座の振り返り、今後の目標設定)、  
機密保持・社会へ出る心がけ

## 同朋大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：ソーシャルワーク実習(4単位)
- 実習先企業等：愛厚ならわ学園
- 実習場所：愛知県半田市
- 参加対象者：社会福祉学部3年生
- 実習期間：9月
- 実習日数：23日

### <取組の概要>

情緒障害児短期治療施設で実習を行った。ここでは、児童との関わり方を学び、児童の抱えている問題やニーズを把握して、児童自立支援計画の作成をした。



※インターンシップは目的に応じて、(1)職場体験型、(2)課題解決型、(3)実務実践型、(4)採用直結型に分けることができ、今回の事例は、学んだ知識を実践を通して習得することを目的とした((3)実務実践型)現場実習のインターンシップを実施しております。



### <取組の具体的な内容>

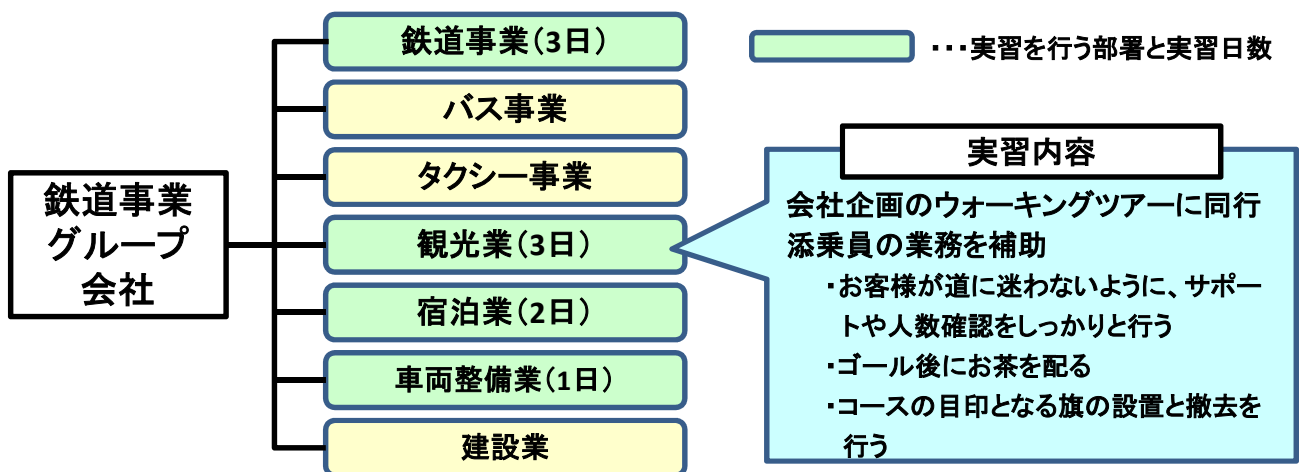
日常は子どもたちと生活をともにし、宿題をみるなどしながら、子どもたちとの接し方を学び、必要な支援を考えている。毎日の実習終了後には、職員の方とミーティングをして振り返りを行い、実習の疑問点などを解決している。また、指導教員は週1回は実習生と面談して指導をしている。全体的には、第1週目は職場の出来事を学び、第2週目は職員の方々の働きと分担を学び、第3～4週は担当する子どもをアセスメントして児童自立支援計画を作成した。

# 豊橋創造大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等：鉄道事業
- 実習場所：愛知県豊橋市
- 参加対象者：経営学部2・3年生
- 実習期間：8月
- 実習日数：10日

## <取組の概要>

鉄道事業でのインターンシップでは、鉄道事業のみならず、グループ内の観光業、宿泊業および車両整備業で実習を行い、グループ内全体の業務内容を把握できるようなプログラムで実習を行っている。



## <取組の具体的な内容>

鉄道事業でのインターンシップでは、初日にグループ全体の会社説明・見学会を実施し、その後はグループ内の鉄道事業、観光業、宿泊業、車両整備業の各社で実習を行う。

鉄道事業(3日間)では、駅での業務(切符の回収、押印、ホームやトイレの清掃)を実習する。観光業では、会社企画のツアーに同行し、添乗員の業務を補助する。車両整備会社では、取引先への営業同行、車検済みの車の清掃業務の補助作業を行う。宿泊業では、朝食会場の準備やルームチェック、チェックイン業務の補助を実習する。

最終日には面談と報告書の作成・提出を行い、実習の振り返りを行う。

このように、グループ内の様々な会社で実習することにより、様々な体験を通してグループ全体の業務内容を把握することができる。

# 名古屋産業大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: インターンシップ(導入)(2単位)
- 実習先企業等: 尾張あさひ苑
- 実習場所: 長野県阿智村
- 参加対象者: 2年生2名
- 実習期間: 8月～9月
- 実習日数: 2週間

## <取組の概要>

学内での事前研修を踏まえ、農山村での地域観光振興に関する様々な取り組みを学び、知識を実践的な能力として発展させる。



月	日	曜	研修場所	研修時間	研修内容
8	26	火	尾張あさひ苑	6:30～20:30	朝市視察 旅館業務
8	27-30	水	尾張あさひ苑	7:30～20:30	旅館業務・メニュー開発
8	31	日	尾張あさひ苑	7:30～20:30	旅館業務 「風笛の里」参加
9	1	月	昼神温泉エリアサポート	7:30～14:30	半日バスツアー体験(下栗の里)
9	2	火	昼神温泉エリアサポート	7:30～21:00	エリアサポート業務・料理試作
9	3	水	尾張あさひ苑 阿智村役場	7:30～21:00	産業振興公社業務視察 旅館業務 阿智村役場(観光施設等見学)
9	5-7	金	尾張あさひ苑	7:30～20:30	旅館業務・料理試作
9	9	火	尾張あさひ苑	7:30～20:30	旅館業務 退去準備 発表会

## <取組の具体的な内容>

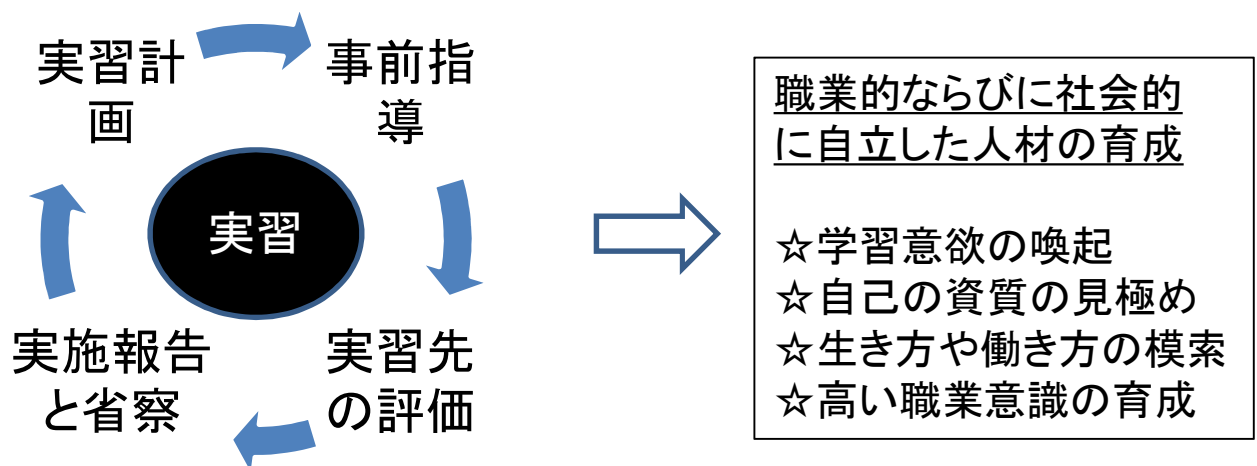
環境情報ビジネス学部2年生の男子学生2名が長野県阿智村にある尾張旭市の保養センター尾張あさひ苑で2週間のインターンシップを行った。地域の観光促進を目的とした本事例では、参加学生1名が調理師免許を持っていたため、地域の食材を使ったメニュー開発に取り組んだ。地元の人に地域の食の魅力についてインタビューを行い、地元の食材や湧水を用いることで郷土色豊かなメニューを開発することを目指した。具体的なメニュー開発では尾張あさひ苑の料理長の指導を受けながら、地元の朝市に出向き、食材を選び、一番清水と呼ばれる湧水と味噌を使った味噌うどんを開発した。インターンシップ最終日前日には関係者や報道関係者を招いて試食会を行った。

# 名古屋商科大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名:国内インターンシップ(3~15単位)
- 実習先企業等:会計事務所
- 実習場所:愛知県名古屋市
- 参加対象者:2年生以上、全学部
- 実習期間:通年 ●実習日数:90時間(15日以上)

## <取組の概要>

夏期休暇頃に多数実施。一定以上の学修ポイントが条件。実習計画書を作成し、事前研修を受けた後、所定の実習先責任者の評価、そして終了後の実習記録への教員評価を経て、成績が決まる。



## <取組の具体的な内容>

金融、ホテル、旅行、小売り、公務など希望に応じて、企業を紹介しております。また事前に研修を実施しており、参加の目的、マナーなどを学び臨んでいます。

# 日本福祉大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名 : インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等 : (株)ベネッセスタイルケア 他
- 実習場所 : 愛知県名古屋市
- 参加対象者 : 社会福祉学部、経済学部、国際福祉開発学部 3年生
- 実習期間 : 8月～9月
- 実習日数 : 10日

## <取組の概要>

学生は目指す分野や目的に応じてクラス(プロジェクト協働型、医療、企業等)を選択し、深く質の高い学びを受ける。事前指導や実習、事後指導を一連の流れで実施し、社会人基礎力と勤労意識を高める。



学生企画立案の様子



高齢者疑似体験の様子

## <取組の具体的な内容>

プロジェクト協働型クラスでは、コーディネーターが大学・学生、企業の双方ニーズを汲み取り、福祉ビジネス(福祉現場、福祉用具、流通)を横断的に学べるプログラムを策定・提供。

講義ではビジネススキルの習得や企業研究、自己分析、目標設定&検証を常態的なワークショップによる協同学習を促し社会的スキルを養成。実習では、様々な企業が用意する下記実習プログラムに参加した。

企業名	実習プログラムの内容
(株)ベネッセスタイルケア	相談援助業務体験、地域向け介護技術セミナー補助、地域営業活動同行
(株)フロンティア	高齢者疑似体験、社員交流
パラマウントベッド(株)	ショールーム見学、社員交流、グループワーク
ユニ・チャーム(株)	吸収体の実験、社員交流
(株)豊通オールライフ	レンタルセンター見学、社員交流

※学生は上記実習プログラムから複数選択し、10日以上スケジュールを組み立てて参加。



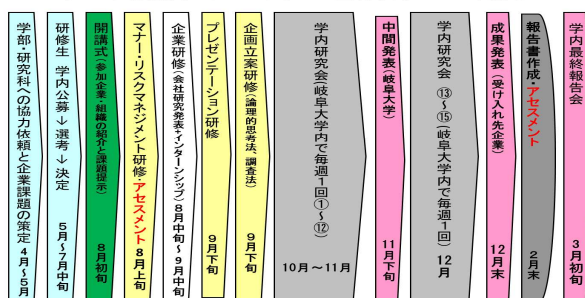
# 岐阜大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：プロジェクト型インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等：岐阜県庁
- 実習場所：岐阜市内
- 参加対象者：全学部1～3年次
- 実習期間：8月～9月 ●実習日数：5日間程度

## <取組の概要>

実習先から与えられた課題に対し、チーム全体で課題に取り組むことにより、履修した学生のキャリア形成を支援し、より実践的で多様なキャリアデザインを描けるようにするPBL型(Project-Based Learning)の教育プログラムである。

●PBL型長期インターンシップの全行程 / 2013年度●



最終成果発表の様子(岐阜県庁)

## <取組の具体的な内容>

学部を横断する1チーム約6名から7名の文理融合型の混成チームとし、夏休み中5日程度の実習先での研修の後、後期の授業として週1回チームが集まり、与えられた課題(県内企業のグローバル化への方策など)の解決に向けたグループワークを行い、11月中旬に中間発表、12月中旬に最終成果発表を実施し、実習先への具体的提案を行う。また、プログラムの事前と事後に教育効果等のアセスメントを実施し、基盤的能力に対する全体比較、各チームに対する基盤的能力の比較、男女間での比較、それぞれの基盤的能力間での相関関係や傾向分析等についての検証を行う。

なお、本授業は文部科学省産業界ニーズ事業(テーマA)採択テーマと連動して展開するものである。

※Gifu University Long-term Internship Program : GULIP

## 名城大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等: 愛知県稲沢市役所
- 実習場所: 愛知県稲沢市
- 参加対象者: 経営学部経営学科3年生(1名)
- 実習期間: 8月1日～25日 ●実習日数: 10日

### <取組の概要>

本授業科目は、「将来のキャリア形成のための就業体験プログラム」というサブタイトルを付し、就業意識を養い、かつ、将来の職業選択を行う際の基礎知識を習得することを到達目標に据え、開講している。夏季又は春季休暇中に集中科目として設定し、就業実習の前後には注意点やビジネス・マナーを学ぶ事前研修と終了後の体験報告会を実施。受け入れ先からの評価報告書等に基づく就業実習の状況、体験報告会における報告内容を勘案し、成績評価している。

### <取組の具体的な内容>

就職活動を見据えた就業体験を希望する者が大半であるが、今回取り上げる学生は実習先の選択にあたり、「自分が生まれ育った地元にも少しでも貢献し、育ててくれた故郷に恩返ししたい」との動機から出身地の役所を選んだことが他の学生と異なり、今回取り上げた。

地元社会を就業経験で深く知ることで、自己のアイデンティティを再確認するとともに、指導を受けた職員から社会で働く責任の重さ、公務員になるために学んでおくべき内容を学んだ。更には職員からの指導の過程で、「無駄なことに思えても、意識次第で(何事も)無駄ではなくなる」というお話を伺い、自分の意識次第で、どのようなことから学ぶことができることを教えられた、と、教訓づけている。

具体的な就業実習の内容は、以下のとおりである。

- ・商工観光課において、サマーフェスタ準備事務補助(2日間)
- ・市営児童館において、児童館運営業務補助、児童遊園管理業務補助及び図書の出借・返却・配架等の業務補助(3日間)
- ・秘書広報課において、市長への表敬訪問の撮影や取材、市民アンケートのデータ入力・集計作業、市のテレビ撮影の見学(5日間)

# 金城大学短期大学部におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: 選択科目「インターンシップⅠ」(2単位)
- 実習先企業等: 宿泊業
- 実習場所: 石川県金沢市
- 参加対象者: ビジネス実務学科1年生
- 実習期間: 平成26年8月～9月
- 実習日数: 10日間

## <取組の概要>

ビジネス実務学科では、初年次の1年間で、学生の就業意識や就業力、社会人基礎力などを醸成することを目的として、2回のインターンシップを実施しています。1年次前期には「キャリアデザイン演習Ⅰ」などの基礎教育や事前教育を行い、1回目の夏期インターンシップを実施します。実習後には、報告会やルーブリックを用いた事後教育を行っています。

### ◆ホテルにおける実習プログラム(例)

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
10:00～16:00 オリエンテーション	11:00～19:00 レストラン業務	11:00～19:00 レストラン業務 15:00～16:30 ウェディング講話	11:00～19:00 レストラン業務	12:00～20:00 宴会サービス
6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
12:00～20:00 宴会サービス	10:00～13:00 金沢観光ツアー立案 14:00～18:00 ビアテラス	9:00～12:00 客室清掃 13:00～17:00 ゲストリレーション	9:00～12:00 客室清掃 13:00～17:00 ゲストリレーション	金沢観光ツアー体験



## <取組の具体的な内容>

- (1) レストラン業務では、接客の基本から学び、体験する。
- (2) 宴会・サービス部門では、館内の動線を見学し、終了後の片付けと次の展開準備作業を体験する。
- (3) 宿泊部門では、客室清掃を体験する。
- (4) ゲストリレーションでは、フロントに立ち、お客様への挨拶を体験する。また、客室まで荷物などを届けることも体験する。
- (5) 各部門の業務を体験することで、接客マナー・言葉遣い・協調性・行動力などを身に付ける。また、体験を通して、学生自身が次への課題を見つける。

# 静岡英和学院大学短期大学部における インターンシップの事例

- 授業科目名:フィールドワーク(インターンシップⅠ)(1単位)
- 実習先企業等:石原水産株式会社
- 実習場所:静岡県焼津市
- 参加対象者:食物学科1年生
- 実習期間:9月
- 実習日数:3日

## <取組の概要>

インターンシップ希望者に対して随時説明会を行っている。実習先が決定後、実習実施に向けての話し方・マナー指導を行っている。実習後、学内での報告会並びに報告書の提出を義務づけている。

## 研修内容

**レストラン**.....料理の盛り付け、料理の配膳、  
客席の片づけ、次の日の準備

**販売**.....接客、商品の箱詰め、  
陳列、倉庫の見学



## <取組の具体的な内容>

レストランとイベントブースでの職業体験をさせていただいている。レストランでは、料理の盛り付け、配膳、客席の片付け、翌日の準備など。イベントブースでの接客、試食品をお勧めすること、販売、商品の箱詰め、陳列、倉庫の見学など。

お客様に接する現場での体験が多く盛り込まれており、仕事をする上での正確と俊敏さ、お客様のニーズを考えての行動などを学ぶことのできる実習内容である。

また、全て共同で作業を行ってため、コミュニケーションの大切さも学ぶことができる。

# 東海大学短期大学部におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: キャリアインターンシップ(資格必修)
- 実習先企業等: 幼稚園、保育園、小学校、福祉施設
- 実習場所: 静岡県静岡市など
- 参加対象者: 児童教育学科2年生
- 実習期間: 4月～12月
- 実習日数: 18日

## <取組の概要>

2年生を対象に、長期分散型インターンシップと事前事後指導ワークショップを実施。当該分野で求められる資質能力について知り、その職種が自己目的と一致した分野であるか理解することで、就業のミスマッチをなくすとともに、就業後によりよく成長できるように当該能力の一層の向上を図る。



2年生対象キャリアインターンシップ＋事後指導ワークショップ

## <取組の具体的な内容>

- ①事前指導において、求められる人材像について、自己の希望する分野の実務家から講演を受け、それを踏まえたワークショップを通して、学生個々が自らの資質に応じた目標設定を行う。
- ②幼稚園、保育園、小学校、施設等において、自己課題を設定した上で、週1回のインターンシップ(保育支援、授業補助等、指導者の立場から、子どもと関わる活動を中心)を行う。(18回/年)
- ③毎回、提出するインターンシップ実施記録に、受入先からのコメントを頂き、「e-Learning」(電子カルテ)に登録する。学期終了時には、それらを集約してアクティブラーニングによる振り返り(事後指導)を行い、学びの共有化と定着が図られるようにする。

## 愛知大学短期大学部におけるインターンシップ事例

- 授業科目名：インターンシップ演習（2単位）
- 実習先企業等：平野屋（観光・宿泊業）
- 実習場所：愛知県蒲郡市（三谷温泉）
- 参加対象者：短期大学部1年生
- 実習期間：8月      ● 実習日数：7日

### <取組の概要>

日本式旅館において、「おもてなし」の心を学び、顧客満足を高めるサービスの実践を通じて、社会で求められている人材像や職業選択について考える。



### <取組の具体的な内容>

インターンシップは9日間（2日休日）で実施された。参加者は短期大学部1年生の2名である。初日に若女将より日本式旅館におけるサービスについての説明やマナー研修、館内見学が実施され、旅館の仕事をイメージすることから始まった。その後、実習プログラムに従って、客室やフロント、宴会部門などで接客業務を体験した。また、若女将と一緒に仕事をする機会も多数用意され、アルバイトでは経験できない業務や丁寧な接客指導を受けることができた。

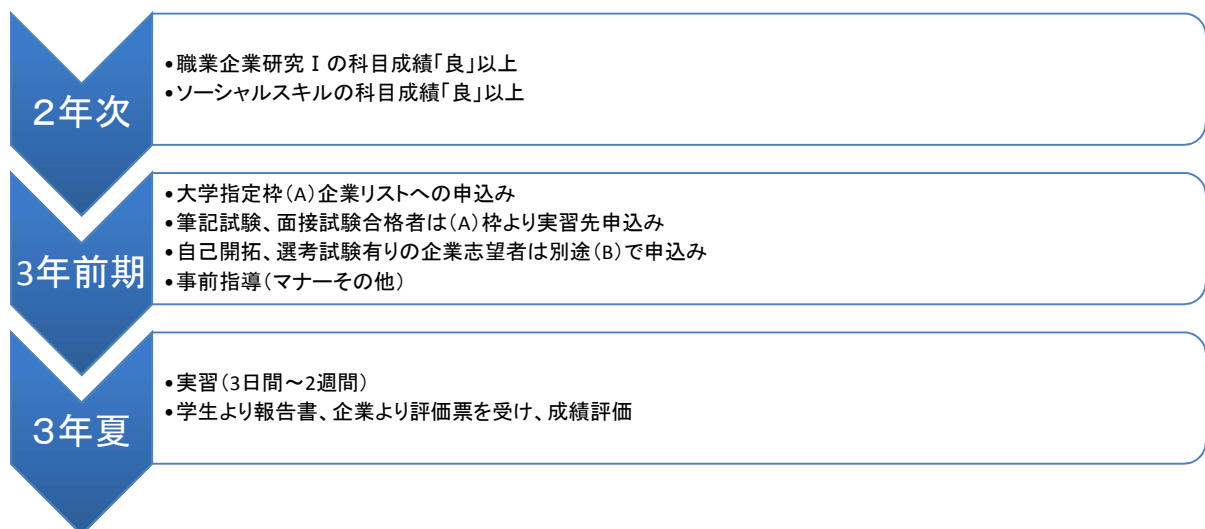
学内のインターンシップ報告会では、参加学生から社会で求められている人材像や自分自身の労働観において、新しい視点を持つことができたとの発表がなされた。報告会に参加していた他の学生からも、「イメージ」だけではなく「実際に経験する」ことの大切さが、改めて理解できたとのコメントがあった。

# 常葉大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：職業企業研究Ⅱ（2単位）
- 実習先企業等：静岡県庁
- 実習場所：静岡県静岡市
- 参加対象者：教育、外国語、造形学部3年生
- 実習期間：8月～9月      ●実習日数：3日～2週間

## <取組の概要>

教員とキャリアサポートセンターが共同運営し、学生は大学指定枠または自己開拓で実習先を志望して、学内で筆記試験、面接選考を受けた後に実習を受ける。



教育・外国語・造形の全学部共通で3年次の選択科目として、職業企業研究Ⅱの名称でを開講。履修するためには、2年次に職業企業研究Ⅰまたはソーシャルスキルを履修し、それぞれ良以上の成績を収めなければならない。インターンシップ前には教員による面接試験があり、実習直前ガイダンスを経て夏期休暇を中心にインターンシップ実習を体験する。候補の選定及び受入折衝はキャリアサポートセンターが事前に行う。インターンシップ終了後受領する評価書の管理もキャリアサポートセンターが行っている。